

## 物件概要書 豊島邸(一月庵)



### 豊島邸とは

豊島邸は、書院風と数寄屋風の意匠を組合わされた特色ある木造平屋の歴史的建造物です。敷地の南側には、趣のある瓦葺屋根付き門と黒板塀があり、建物との間には自然豊かな和風庭園が造られています。また、用途地域が近隣商業地域であるため、多様な活用の可能性を有しております。



1| 通りに面した門及び塀は、小田原の旧城下町の武家地の様相を現代に伝えています。2| 門から主屋玄関までのアプローチ。正面には画廊の壁面に取り付けられたステンドグラスが印象的です。3| 門と主屋の間に配された和風庭園。一面にはられた芝と松、水景等の自然豊かな造りとなっている。

## 基本情報

所在地	小田原市栄町四丁目700番1	所有者名	小田原市
-----	----------------	------	------

## 地域地区等

用途地域	近隣商業地域（市街化区域）	建ぺい率	80%
防火地域	準防火地域	容積率	200%
その他	高度地区:第2種高度地区(最高高さ15m) 景観計画区域:景観計画区域 都市機能誘導区域:小田原駅周辺		

## 施設概要

敷地面積	881.21㎡(公簿)		
建築面積	176.68㎡		
延べ床面積	167.96㎡		
建築年	昭和16年(1941年)	主要用途	専用住宅(現状)
位置付け	国指定登録有形文化財		

## 敷地内インフラの状況

項目	種別	備考
ガス	都市ガス	閉栓中φ30mm
電気	東京電力	契約内容 100V
上水	公営(小田原市)	接続済 引込み管φ20mm
汚水・雑排水	公共下水	接続済 引込み管φ100~150mm
雨水	宅地内浸透式	一部、道路側溝に接続済み

## 総合的価値とエリア的可能性

主屋は天井を高くし、付書院等を設えた書院風と、様々な化粧天井等を持つ数寄屋風の意匠が組合わされた個性的な建物で障子や腰壁などの建具の欄も秀逸です。また、一面に芝がはられ、ワビスケ等の銘木が配された明るい庭園は、市街地に残された数少ない緑地としても貴重であり、重厚な格調高い門と板塀も魅力的な景観を形成する建造物の一つとして知られています。

現在は、新玉地区と呼ばれる区画の一面で、江戸時代には、「中新馬場」と呼ばれた武家地に位置しており、周辺は、小田原駅方徒歩圏内という立地にも関わらず、比較的閑静な住環境を形成しています。また、西方にある旧甲州道沿道などには、大きな出桁を備えた町屋など、かつて「脇町」と呼ばれた歴史ある城下町の繁栄の名残や奥深い情緒を伝えています。

アクセス

・JR東日本「小田原駅」より車5分、徒歩15分

